

現在の亀山市立図書館は昭和55年(1980年)に竣工しましたが、施設の老朽化などさまざまな課題を抱えており、JR亀山駅前を移転先として整備計画を検討しています。

基本計画の策定にあたり、新しい図書館について市民の皆様と共に考えるため、昨年10月よりワークショップや意見交換会などを開催し、皆様からたくさんのご意見をいただきました。これらを取りまとめた図書館整備推進委員会で議論・確認し、基本計画の内容をとりまとめているところです。

今回のニュースレターでは基本計画のふり返りとして、これまでの経過や基本計画としての成果をお知らせします。

新しい図書館を みんなで創ろう!

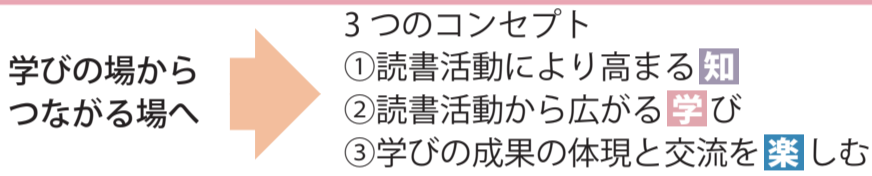


基本計画策定までの流れ

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
図書館整備推進委員会 学識経験者、団体役員、一般公募市民などにより構成され、整備計画について検討しています。			15		1 23	29
市民ワークショップ 公募で参加者を募り、テーマに沿って、意見を出しました。			27	21	10	17
おでかけワークショップ 図書館利用の鍵となる方々へ出向いて議論しました。		17 24	7 19	24 29 31	8	21
意見交換会 各種団体へ出向き、意見交換を行いました。	4 27	11 15	4 5 11 12 13	10 16 17 24	7 14 26 27	

第1～3回市民ワークショップの成果は?

◆基本理念 (「亀山市立図書館整備基本構想」(平成29年7月策定)より)



基本計画段階では、基本理念を実現するために新しい図書館はどうあるべきか、可能性を広げる議論を行いました。

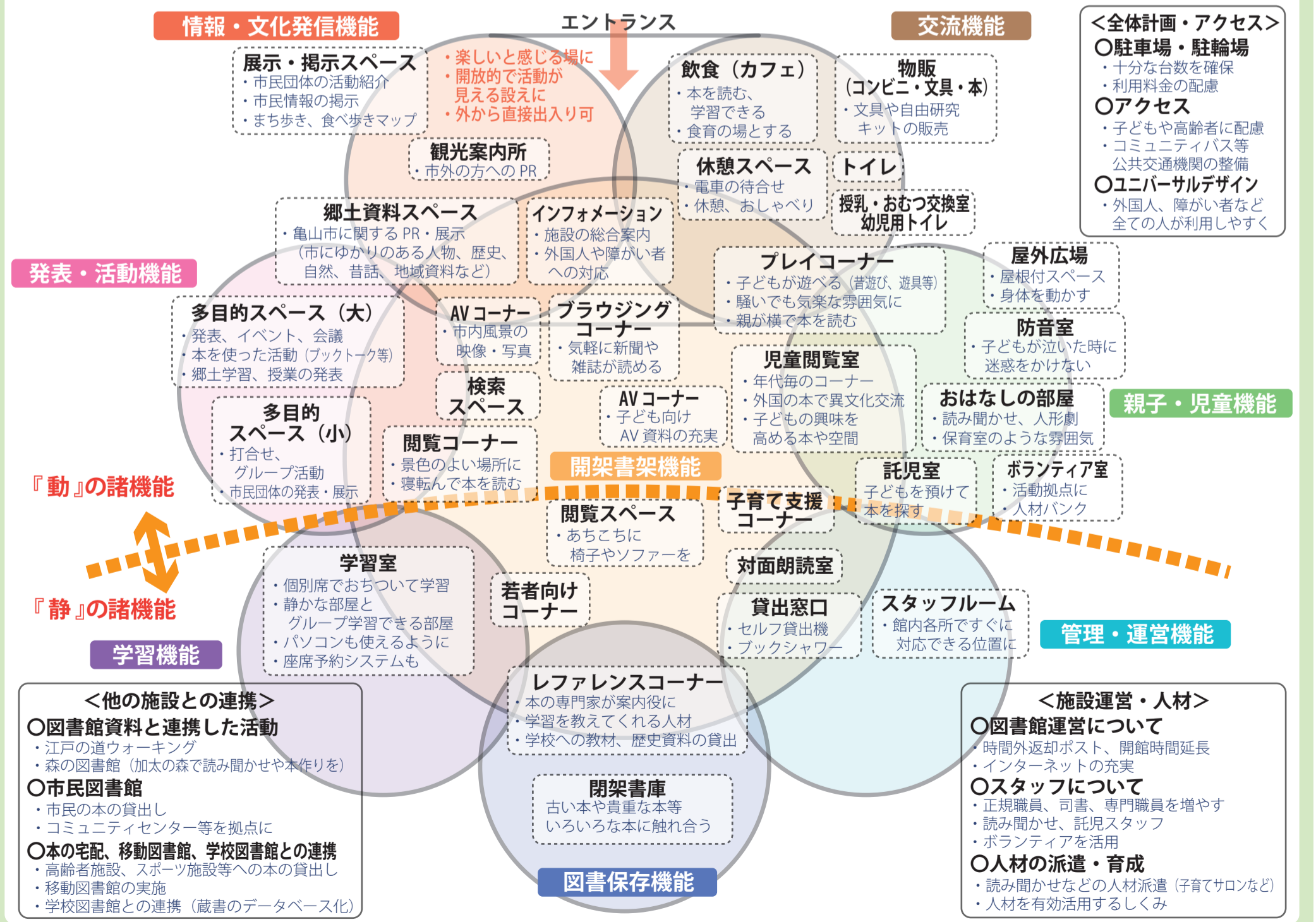
まずは現在の図書館のよいところ・イマイチなところや、まちの特徴を確認し、新しい図書館計画につなげる部分を整理しました。

その上で、新しい図書館でこういった活動や使い方(ソフト面)をするかアイデアを出し、それを実現するにはこういった空間や設備(ハード面)が必要かを検討しました。

◆新図書館での機能と活動の整理

新しい図書館に求められる「機能」と、そこで行われる使い方・活動を整理してまとめました。これらは今後の図書館設計のベースとなります。

(現時点での可能性を記載しているものであり、全てをこのまま実現するという意味ではありません。)



<他の施設との連携>

- 図書館資料と連携した活動
 - 江戸の道ウォーキング
 - 森の図書館(加太の森で読み聞かせや本作りを)
- 市民図書館
 - 市民の本の貸出し
 - コミュニティセンター等を拠点に
- 本の宅配、移動図書館、学校図書館との連携
 - 高齢者施設、スポーツ施設等への本の貸出し
 - 移動図書館の実施
 - 学校図書館との連携(蔵書のデータベース化)

図書保存機能

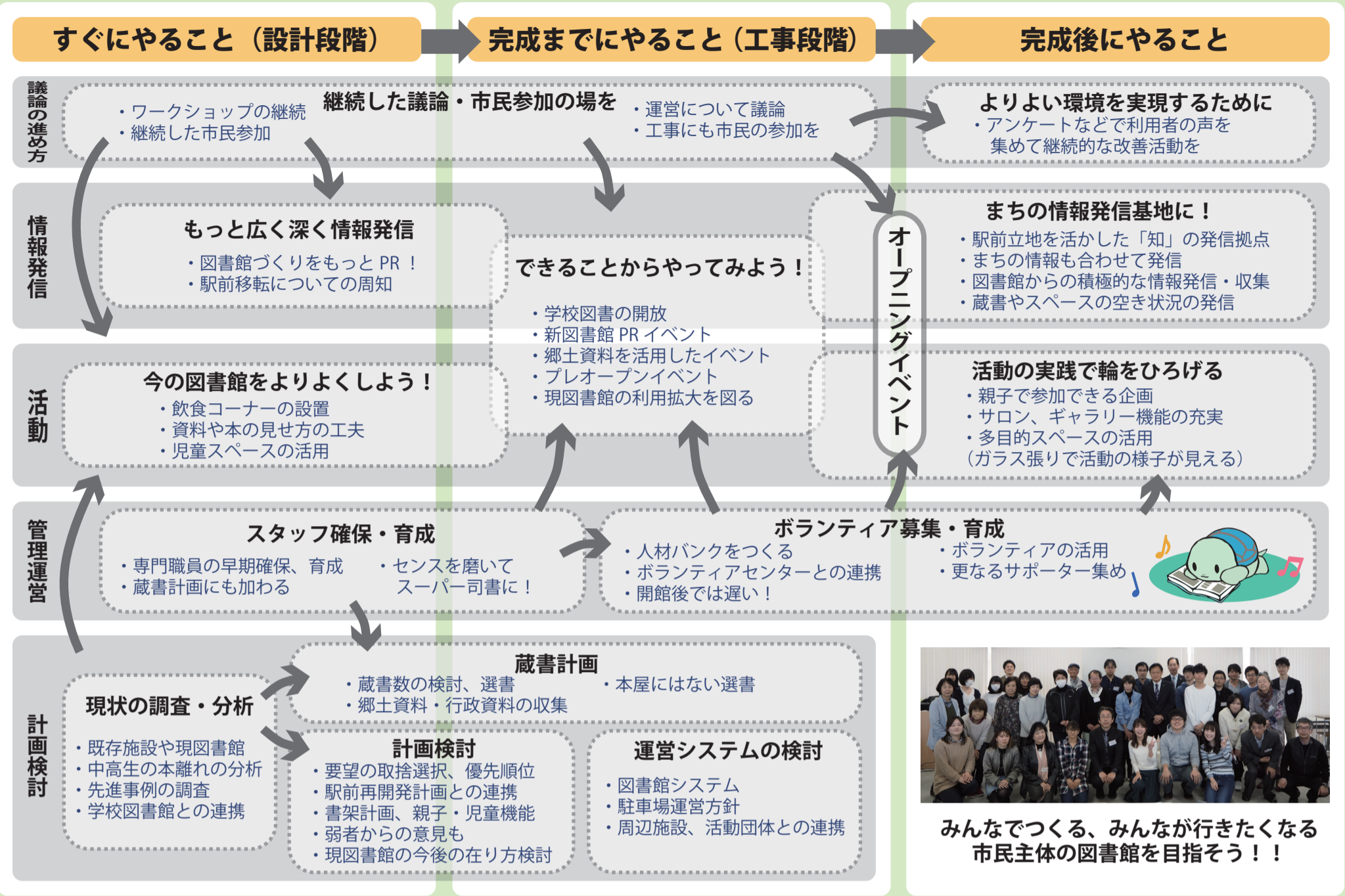
レファレンスコーナー
本の専門家が案内役に、学習を教えてくれる人材、学校への教材、歴史資料の貸出

閉架書庫
古い本や貴重な本等、いろいろな本に触れ合う

第4回市民ワークショップのまとめ

平成30年3月17日(土)開催

基本計画段階での全4回のワークショップも最終回。表面の『新図書館での機能と活動の整理』の確認後、「開館までこれから何しよう?~開館後を見据えたロードマップづくり~」と題して、これから考えること、今からでもできることは何か議論しました。



基本計画の方向性

◆市民ワークショップによる新図書館像

市民ワークショップにおいて示された新しい図書館への想いとして、ハード面では「動」と「静」の空間を分けること、飲食可能なスペース、駐車場の確保など、ソフト面では親子での利用、体制・蔵書の充実などが挙げられます。

◆めざす図書館像＝「多機能型図書館」

ワークショップや図書館整備推進委員会などの議論を経て、市民の皆さんが思い描く新しい図書館像を整理し、図書館本来の機能に以下のような機能を併せ持った「多機能型図書館」をめざすものとします。

- ①数多くの市民が交流できる。
- ②飲食物の提供あるいは飲食が可能である。
- ③亀山ゆかりの人物の作品や市民活動などの展示ギャラリーがある。
- ④親子が気兼ねなく利用できる。
- ⑤亀山市域の多様な情報が発信されている。
- ⑥さまざまな学びに対応できる。
- ⑦亀山に関する貴重な資料が保存されている。
- ⑧利便性が高い管理運営がなされる。

中井先生のまとめ

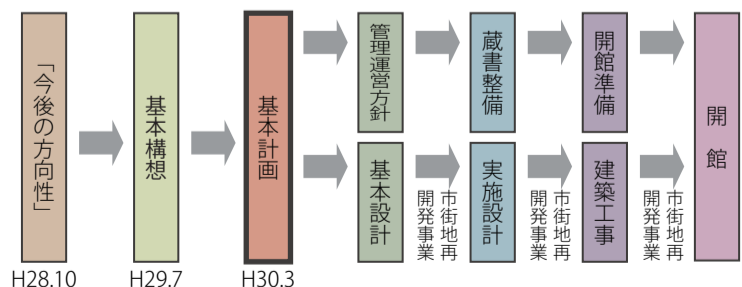
愛知工業大学工学部建築学科教授
市民ワークショップアドバイザー



地域人口の約7割の方は図書館を利用していません。待っているだけでは来てもらえないので、市民サポーターなど、図書館に関わり、利用している姿を見えるようにすることで掘りおこしができるのではないのでしょうか。こういった議論の場がこれからも継続されて、完成後にはサロンのような地域の方の居場所が図書館にできるといいですね。

今後の流れ

今後は亀山駅周辺事業の基本設計、実施設計と合わせて新図書館の設計を進め、平成34年(2022年)の開館を目指します。基本設計段階でも市民ワークショップを継続して実施予定です。



キャラクターの名前が決まりました

亀山市の新しい図書館づくりプロセスのマスコットとして亀をモチーフにしたオリジナルキャラクターを作成しました。ワークショップで人気投票を行い、名前を決定しました。



■発行

亀山市 教育委員会事務局 生涯学習課
〒519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地
電話：0595-84-5057 FAX：0595-82-6161
メール：syougaku@city.kameyama.mie.jp

■ワークショップ運営

(株) 東畑建築事務所
■ワークショップアドバイザー
中井孝幸 (愛知工業大学教授)